

## 平成 31 年度 事業計画

### 1 教育研究活動の充実

- ・看護学部設置申請時の設置計画を確実に履行する。
- ・保健科学部の新カリキュラムによる教育課程を履行する。
- ・平成 32 年度に施行される理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則改正への対応について準備を進める。
- ・共通教育センターを設置し、両学部の教養教育の充実を図る。
- ・地域保健医療研究センターを設置し、医療系本学としての特色を打ち出した研究を推進するとともに、公的研究費の獲得を目指す。
- ・健康管理センターを設置し、教職員及び学生の健康状態に関する情報を一元的に管理する。

### 2 施設設備の充実

- ・歩行姿勢の評価システムなど、教育研究に必要な備品を導入する。
- ・図書館及び食堂運営の業務委託を開始する。
- ・電子ジャーナルの追加及び電子書籍を新規導入する。併せて、新入生へのノートパソコン貸与と、学内無線 LAN の利用を開始することで、複数の学生が同時に同じ文献を閲覧できる環境を整える。
- ・本館の図書館跡を、地域保健医療研究センター及びコミュニティホールとして整備する。

### 3 学生の確保

- ・AO 入試、大学入試センター試験利用などの新たな入試制度を導入し、受験生の幅を広げる。
- ・オープンキャンパス、学校説明会、学校訪問など高校生と直接話す機会を増やし、大学の情報を丁寧に伝える。
- ・ホームページをリニューアルしてインターネットによる広報に注力する。
- ・高校側からの職業理解を踏まえた模擬授業の要請など、高大連携に応える講師派遣体制を整備する。

#### 4 地域連携の推進

- ・飯山市、川中島地区住民自治協議会及びサキベジ推進協議会との連携協定に基づく事業の展開を図る。
- ・看護学実習のための看護管理者研修の開催。
- ・自治体及び地域の住民自治協議会などからの委員の委嘱や講師依頼などに応え、地域活動へ貢献する。

#### 5 委員会活動の実践

- ・広報委員会と広報業務を担う学務部との関係を整理し、基本方針に沿った広報活動の充実を図る。
- ・研修委員会において、リカレント教育と一般教養講座の開催を検討する。

#### 6 助成金の活用

- ・保健科学部のアフターケア期間終了に伴い、交付対象となる私立大学等経常費補助金の申請を行う。
- ・上記と同様に、文科省の各種補助金についても対象となることから、教育研究設備に対する補助金の利用を検討する。

#### 7 大学院構想の推進

- ・地域保健医療研究センター及び事務局企画部により、構想の具体化を進める。

(主な行事予定)

31年4月	入学式 前期授業開始 作業療法学専攻4年 実習Ⅰ期
5月	理学療法学専攻 臨床実習指導者会議
6月	第1回オープンキャンパス 理学療法学専攻4年 実習Ⅰ期 作業療法学専攻4年 実習Ⅱ期 後援会総会
7月	第2回オープンキャンパス
8月	第3回オープンキャンパス 理学・作業療法学専攻3年 評価実習
9月	第4回オープンキャンパス 後期授業開始 理学療法学専攻4年 実習Ⅱ期 作業療法学専攻4年 実習Ⅲ期
10月	防災訓練 桃華祭(学園祭)
32年2月	作業療法学専攻 臨床実習指導者会議 全学1年 解剖学実習 理学・作業療法学専攻2年 評価実習
3月	卒業証書授与式 新学年向けオープンキャンパス